



## 産業協力・企業間交流セミナー 2022年のカザフスタンを読み解く3つの視点 ～政治・経済・石油～

令和4年6月15日

(一社)ロシアNIS貿易会 (ROTOBO)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、このたび当会では、経済産業省の助成を受け、掲題セミナーを2022年7月4日(月)に開催致します。

旧ソ連でロシアに次ぐ産油国であるカザフスタンでは本年1月、国内で大規模な抗議行動が勃発し、その結果、2019年の辞任後も隠然たる権力を行使してきたヌルスルタン・ナザルバエフ初代大統領とその一族が、政治経済の表舞台から退くこととなりました。続く2月末には同国によって最重要のパートナー国の一つであるロシアがウクライナ侵略を開始、日本を含む西側諸国による経済制裁が発動されました。

カザフスタンは中央アジアにおける日本の最大の貿易相手国であり、日本企業にとって様々な局面でロシアの代替となりうる可能性を秘めた国であるところ、この度のウェビナーでは政治、経済、および同国を支える石油産業という3つの視点から、カザフスタンと激動する国際情勢の現状と将来を展望します。

参加ご希望の方は、別紙1のプログラムをご確認のうえ**6月30日(木)まで**に下記参加登録フォームよりお申し込みください。議論を深めるため、同登録フォームにて各講師に向けた事前のご質問も承りますので、ご希望の方はご利用ください。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

記

◆日時： 令和4年7月4日(月) 15:00～17:15 (日本時間)

◆形式： オンライン開催

※Zoomを利用。(ブラウザ上から参加できるためソフトをインストールする必要はありません。)

※配信リンクは、7月1日(金)にお申込みいただいた方にお知らせします。

◆主催： (一社)ロシアNIS貿易会 (ROTOBO)

◆内容： 別紙1参照 / ◆言語： 日露同時通訳 / ◆参加費： 無料

◆お申込み方法および締切：

**6月30日(木) 日本時間17:00まで**に、下記フォームよりお申し込みください。

※参加登録フォームリンク：[https://jp-kz.org/entry/?post\\_id=3847](https://jp-kz.org/entry/?post_id=3847)

◆問合せ： (一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所 (担当：輪島、長谷、森)

TEL:03-3551-6218 E-mail: central-asia@rotobo.or.jp

産業協力・企業間交流セミナー

## 2022年のカザフスタンを読み解く3つの視点 ～政治・経済・石油～

### プログラム

2022年06月15日現在

時間	プログラム
14:50-15:00	開場
15:00-15:05	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ モデレータ開会挨拶・インストラクション 輪島 実樹 (一社) ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所 研究交流部長</li> <li>■ 報告</li> </ul>
15:05-15:25	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「2022年のカザフスタンの政治を展望する」 D. サトパエフ Kazakhstan Risks Assessment Group 代表</li> </ul>
15:25-15:40	◇ 質疑応答
15:40-16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「2022年最初の月の出来事とそのカザフスタン経済への影響」 V. ドドノフ カザフスタン共和国大統領付属戦略研究所 (KISI) 主任研究員</li> </ul>
16:00-16:15	◇ 質疑応答
16:15-16:35	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「“Qantar” を経て対口経済制裁下にあるカザフスタン石油産業の現状」 O. チェルビンスキー 『Petroleum』 誌 編集長</li> </ul>
16:35-16:50	◇ 質疑応答
16:50-17:15	■ 講師3名とモデレータによるディスカッション／閉会

#### ■ □ ■ 報告者紹介 ■ □ ■



#### ドシム・サトパエフ (Dossym SATPAYEV)

中央アジアおよびカスピ海地域の政治・経済リスク分析を専門とするカザフスタンの民間調査分析機関「Kazakhstan Risks Assessment Group」代表、政治学博士。TV・新聞等国内メディアに頻繁に登場し分析を披露、在野の論客として知られる。近著に『カスピ海資源ブームをめぐる課題: 国内エリートとポリシー・メイキング』(2012)、『トワイライトゾーン: 移行期の罫』(2013)、『カザフスタン: 移行による試練』(2019)等。



#### ビャチェスラフ・ドドノフ (Vyacheslav DODONOV)

カザフスタン共和国大統領付属戦略研究所 (KISI) 主任研究員、経済学博士。国内外で250本を超える論文を発表、政府機関・企業体による多数の研究への参加実績、国際会議・フォーラムへの参加、報告経験をもつ。主な研究対象は株式市場、ポートフォリオ管理、世界経済、経済危機、国家経済規制、マクロ経済等。近著に『現在のグローバル・ファイナンスシステム構造におけるラストクライシス』(2014)、『日本の経済成長変化の財政的要因』(2017)等。



#### オレグ・チェルビンスキー (Oleg CZERWINSKI)

2000年にアルマトイで創刊したカザフスタン石油・ガス分野の代表的なビジネス専門誌『Petroleum』編集長。同国独立後初の石油・ガスメディア『カザフスタンの石油・ガス』誌の創設者兼編集長。カスピ海地域の石油・ガス問題の専門家として分析・論評を新聞等国内・海外メディアで発表。カザフスタン・ジャーナリスト連合メンバー、カザフスタン・ジャーナリズムアカデミー会員。近著に『カザフスタンの黒血: 独立のオイル・ヒストリー』(2017)等。現在、ポーランド在住。